

# ほけんだより



例年になく線状降水帯が次々と発生し長雨に見舞われた夏でした。プール遊びの日が少なくなりましたが、毎日元気な子ども達の声で溢れています。天候が不安定な状態が今後も予想される中、熱中症にも気を付けながら運動会の取り組みをしていきたいと思ひます。

9月は『防災の日』『救急の日』『秋の交通安全週間』と命に関係する記念日が多い月です。点検と見直しを家族で考える機会になります。



## 9月 ほけん行事

7日(火)・・・身体計測(0・1歳)  
8日(水)・・・身体計測(2・3歳)  
9日(水)・・・身体計測(4・5歳)

内科健診は緊急事態宣言で延期未定です。決まり次第、お知らせします。

### 9月1日 防災の日は何をする? 家族でチェック

自宅近くの避難場所は?  
●地域で決められている避難場所まで、家族みんなで歩いてみよう。

非常時の連絡方法は?  
●災害用伝言ダイヤル「171」が利用できます。  
固定電話や携帯電話から録音でき、その録音を聞くこともできます。  
☆だんでも体験できる期間があるので、家族で試してみよう。

●遠方の親戚などの連絡先をみんなで確認しておこう。  
☆連絡の中継をしてもらえます。

## 頭を打ったけど、たんこぶが出来たから安心?!



「たんこぶが出来たから大丈夫よ」聞いたことありませんか?  
たんこぶの正体は・・・行き場を失った血の塊です。頭を打ったらまず、出血を止めるためにも患部を冷やし安静にしましょう。頭部外傷は、打撲によるたんこぶから、命に係わる重篤なものまであります。6時間以内は嘔吐などの症状がないか様子を見ます。もし、嘔吐したり意識が無くなったり、症状が見られた場合は早急に病院受診をしましょう。  
また、1ヶ月以上経ってから症状(頭痛・嘔吐・麻痺など)がでる『慢性硬膜下血腫』というものもあるので、注意が必要です。

## こどものコロナウイルス感染症について

### ★新型コロナウイルスにかかるこどもは増えている?

こどもの感染者数が少ない理由は、新型コロナウイルスに感染していたとしても症状が軽度であり、風邪と判断され、検査をせずに治癒している可能性があります。そのため実はもう少し感染者数が多い可能性があります。いずれにしても各世代と比較しても圧倒的に少ない人数となっています。が、感染のしやすさは大人と同じであるため、こどもだから感染しにくいというわけではありません。

### ★こどもが新型コロナウイルスにかかるとどんな症状が出るの?

こどもは、集団生活の場で過ごすことが多いですが、こどもの感染者の例を見ていくと、その多くが、家庭内で保護者から感染している、また、逆流感染も始まっている(感染を知らずに登園したこどもから感染し家庭へ持ち帰る)と日本小児科学会の報告があります。

こどもの新型コロナウイルスに感染症の主症状は、発熱、乾いた咳です。

一部では嘔吐、腹痛や下痢などの消化器症状が出ている人もいます。